

一般家庭分電盤装着用

通電火災予防用品

感停断

停電・感震センサー STE20

取扱説明書/保証書

この度は、感停断をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。T20001010
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

本製品は、電力会社からの電力供給停止（停電：除く瞬断）並びに震度5強以上の地震検出後、3分後に分電盤ブレーカを落下させ、復電（電力会社電力供給再開）直後あるいは地震直後の電気火災や感電事故などの二次災害を予防する装置です。

注意 この記号は取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じる可能性がある事を告げるものです。

1. ご使用になる前に

- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みにし、正しくお使いください。
- 本製品は、停電状態が3分間継続している場合に動作します（瞬断（一瞬の停電）では動作しない様に設計されています）
- 本製品は、震度5強以上の地震検出後3分後に動作します（発生直後3分間は動作を抑制するように設計されています）
- 本製品は、停電や地震を予知するものではありません。
- 本製品は、一般住宅の分電盤用です。工業用分電盤や人命に関わる医療機器などには使用しないでください。
- 停電、地震、その他災害発生に伴う事故、混乱、または本製品をこの取扱説明書に記載された以外の方法で使用した場合や、本製品を使用したことによって本製品以外でお客様に生じた損害については、弊社および販売店はいかなる場合も責任を負いませんのでご了承ください。
- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更する場合があります。

2. ご使用上の注意

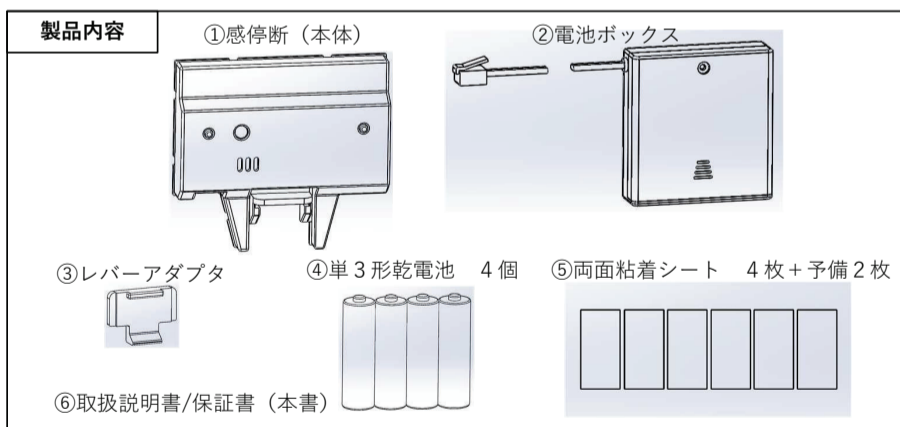
- この取扱説明書で説明している以外の取付方法、使用法、電池容量不足時の動作の保証はいたしません。
- 本製品の分電盤への取り付け強度が不十分な場合、ブレーカ遮断時に本体が外れて遮断できないことがあります。
- この製品が正常に動作することを、動作確認テストボタンにて定期的に行うことを推奨いたします。
- テストを行うと実際にブレーカが遮断します。ご家庭内のパソコンや電気機器等で停電により故障などのおそれがある場合は、事前に安全対策を行ってください。
- 本製品の取り付けは、分電盤の漏電ブレーカやサービスブレーカに行います。取付の際にブレーカを遮断することがありますので、注意して取り付け作業を行ってください。
- 本製品のケース表面に微細な横筋が残ることがありますが、性能には影響がありません。
- 電池は、2年以内を目安に定期的に新品の単3形アルカリ乾電池4本全部を交換してください。

注意 本製品の分電盤への取り付けは、高い位置での作業となりますので、しっかりした踏み台で行い、転倒に注意して安全な環境で行ってください。また、落下物にも注意してください。

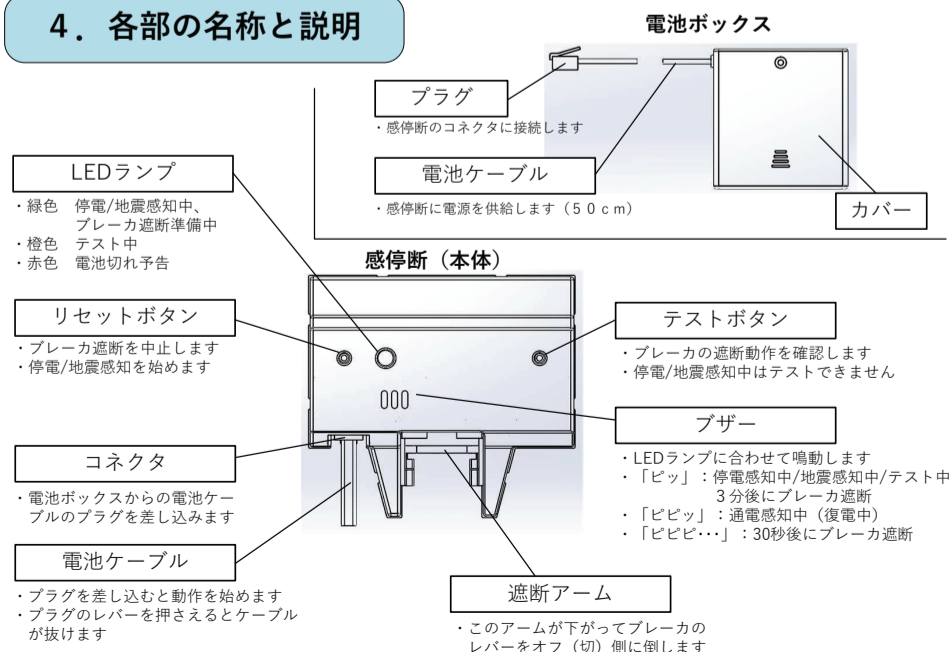
注意 感電などのおそれがありますので、濡れた手などで作業しないでください。

3. 製品内容

本製品をご購入後、はじめに製品構成物が揃っているかをご確認ください。



4. 各部の名称と説明



5. 取り付け前の準備

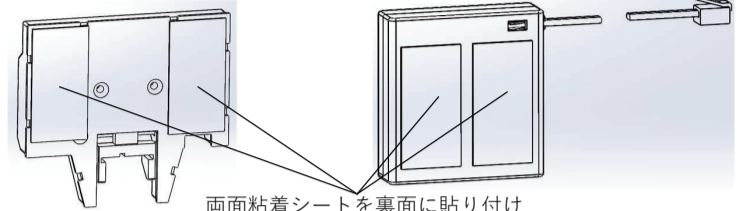
【両面粘着シートの貼り付け】

- ①テーブル上など水平な場所に本製品を置きます。
- ②両面粘着シート（4枚）の片面の保護シールをはがし、感停断（本体）と電池ボックスの裏側（カバーではない面）の図1の位置に各々貼り付けます。

両面粘着シートの表側の保護シールは、まだはがさないでください。

- ③両面粘着シートを3回ほど強く押しつけて、しっかりまんべんなく貼り付けてください。

図1 両面粘着シートの貼り付け



【取り付け前の動作確認】

- ①電池ボックスに単3乾電池4本を表示の向きに合わせて取り付けます。
- ②電池ケーブルのプラグを感停断（本体）のコネクタにしっかり差し込みます。
- ③「ビッ」とブザーが鳴るまで数秒間待ちます。
- ④本製品を分電盤の漏電ブレーカのレバーの上に置き、「ビビッ」とブザーが2回連続して鳴ることを確認します。

重要！

ブザーが「ビッ」と1回だけ鳴る場合は分電盤の電気を感知できていません。分電盤にサービスブレーカがある場合は、そちらに取り付ける事で感知できる事があります。

6. 本製品の取り付け

【感停断（本体）の取り付け方】

- ①取り付け作業の前に、電池ケーブルのプラグを感停断（本体）のコネクタから外しておきます。
- ②漏電ブレーカの上（レバーはオン（入）の状態）に取り付けられる事を確認します。（図2）

ブレーカレバーの先端が遮断アームの1cm以内に入るようにしてください。（図3）

- ③取り付ける位置の汚れ、ほこり、水分、油などをきれいにふき取ってください。
- ④感停断（本体）の粘着シートの保護シールをはがし、取り付け位置に3回ほど強く押さえます。

重要！

感停断（本体）を貼り付けた後で分電盤からはがすと、カバー表面に傷を残すことがあります。貼り付け位置は慎重に定めてください。一度はがした両面粘着シートは再使用できません。その際は予備のシートをご使用ください。

注意

本製品の分電盤への取り付けは、高い位置での作業となりますので、しっかりした踏み台で行い、転倒に注意して安全な環境で行ってください。また、落下物にも注意してください。

注意

感電などのおそれがありますので、濡れた手などで作業しないでください。

図2 分電盤への取り付け位置

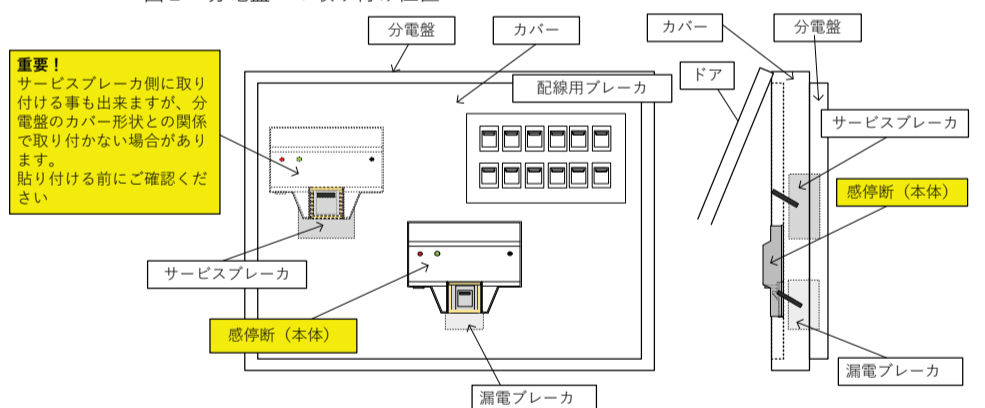
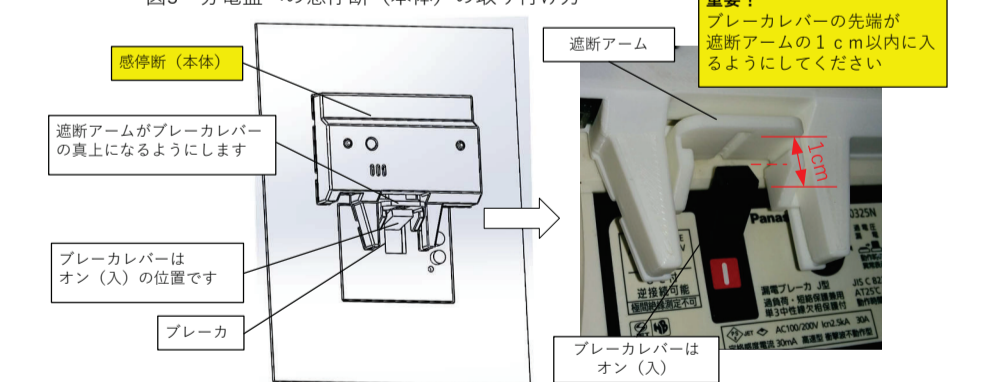


図3 分電盤への感停断（本体）の取り付け方



重要！

ブレーカレバーを遮断アームで押し出せる高さに取り付けてください。サービスブレーカ側が次のような分電盤の場合は漏電ブレーカ側に取り付けます。

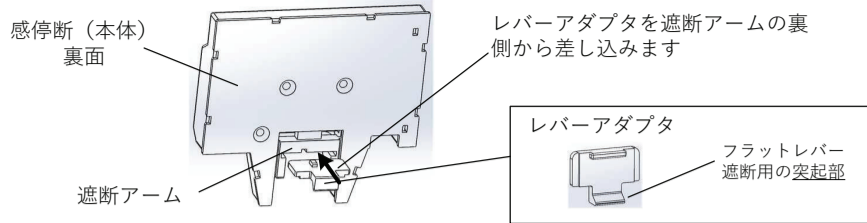


ブレーカレバーが遮断アームより低い位置にあっても、レバーアダプタを使用すると取り付け可能な場合があります。

【フラットレバータイプのブレーカへの取り付け方】

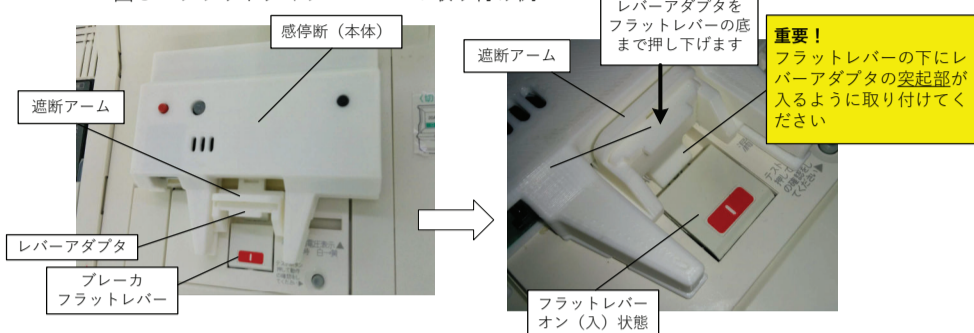
①遮断アームの裏側からレバーアダプタを取り付けます。

図4 レバーアダプタの取り付け方



②レバーアダプタの突起部がフラットタイプブレーカの底に当たるまで押し下げます。ブレーカ遮断時はレバーアダプタの突起部がフラットレバーの下に潜り込んで遮断（オフ（切）の状態）します。

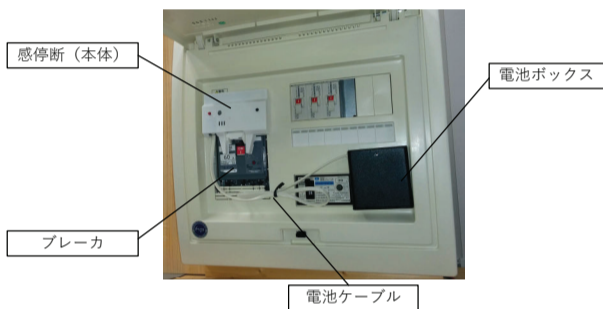
図5 フラットタイプブレーカへの取り付け例



【電池ボックスの分電盤内への取り付け】

- ①電池ボックスの裏面の粘着シートの保護シールをはがします。
- ②電池ボックスを分電盤の空いたスペースに貼り付け3回ほど強く押さえます。
- ③電池ケーブルのプラグを感停断（本体）のコネクタにカッチと鳴るまでしっかり差し込みます。
- ④電池ケーブルの余長処理を行います。

図6 電池ボックスを分電盤内に取り付けた例

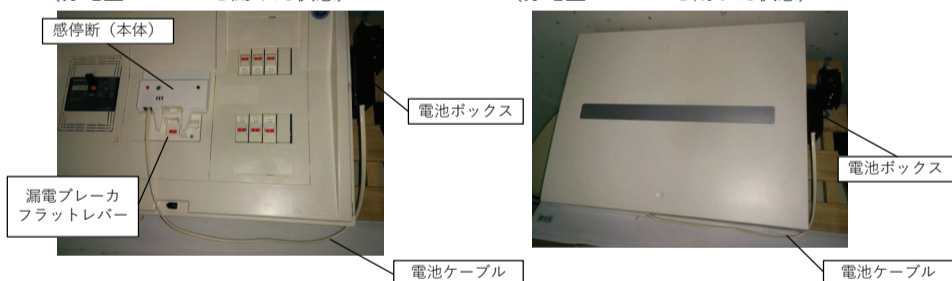


【電池ボックスの分電盤の外への取り付け】

- ①電池ボックスの裏面の粘着シートの保護シールをはがします。
- ②分電盤の周囲で電池ケーブルの届く範囲に貼り付け3回ほど強く押さえます。
- ③最後に、電池ケーブルのプラグを感停断（本体）のコネクタにしっかり差し込みます。

壁面の材質によっては粘着シートがしっかり張り付かない場合があります。できるだけ分電盤のカバー、側面等に貼り付けるようにしてください。

図7 電池ボックスをカバー付き分電盤の周辺に取り付けた例
(分電盤のカバーを開けた状態) (分電盤のカバーを閉じた状態)



注意 分電盤の感停断（本体）と乾電池の取り付け面は、きれいに清掃し乾燥した状態にしてください。汚れ、ほこり、水分、油などが付着していると感停断（本体）や電池ボックスがはがれ落ちる事があります。

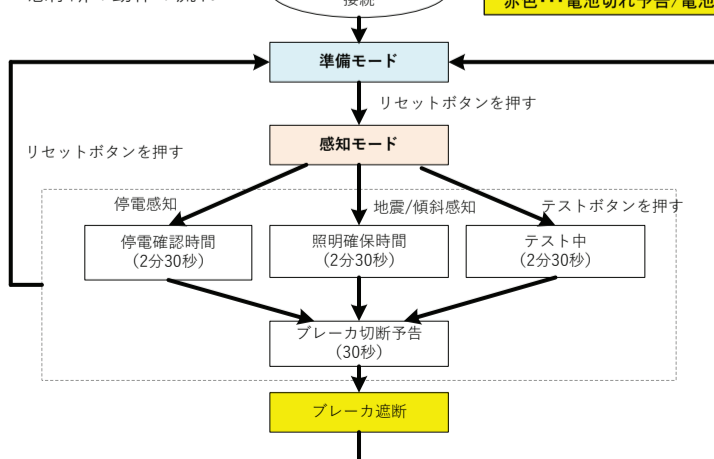
7. 使い方

感停断は「準備モード」と「感知モード」で動作します。感知後の動作状態はブザーとLEDランプでわかります。

ブザー
「ピッ」 停電/地震/傾斜の感知中
3分後にブレーカ遮断
「ビビビ…」 復電中、リセットボタンを押す
「ビビビ…」 30秒後にブレーカ遮断

LEDランプ
緑色…停電/地震/傾斜の感知中
オレンジ…テスト中
赤色…電池切れ予告/電池切れ

図8 感停断の動作の流れ



【準備モード】

- ・感停断（本体）に電源ケーブルを接続すると「準備モード」になり、遮断アームが移動して最初の位置に戻ります。「準備モード」では停電や地震感知によるブレーカ遮断は行いません。
- ・「ビビビ」と鳴ったらリセットボタンを押して停電/地震感知を始めます。（感知モードになります）

重要！

「ピッ」と1回だけ短く鳴る場合は、もう一度「5. 取り付け前の準備」の【取り付け前の動作確認】を行ってください。（リセットボタンを押しても何もしません）

テストボタンを押しながらリセットボタンを押すと、停電センサーを止めて地震センサーだけで感知を始めます。この動作モードでは停電が起きてもブレーカは遮断されません。

【感知モード】

- ・感停断が停電/地震/傾斜の感知を行っている通常の状態です。電池切れとなるまで新品の乾電池で約2年間感知を続けます。
- ・停電/地震/傾斜を感知したり、テストボタンが押されるとブザーとLEDランプで通知し、3分後に自動的にブレーカを遮断します。

①停電感知時

- ・「ピッ」とブザーが鳴りながら（LEDランプは緑色発光）停電確認時間が始まり、3分後にブレーカが自動的に遮断されます。
- ・ブレーカ遮断の30秒前から「ビビビ…」とブザーが連続して鳴ります。
- ・ブザーが鳴っている間に電気が回復（復電）するとブレーカ遮断は中止されます。

②地震感知時

- ・震度5強相当以上の地震を感知すると「ピッ」とブザーが鳴りながら（LEDランプは緑色発光）照明確保時間が始まり、3分後にブレーカが自動的に遮断されます。
- ・ブレーカ遮断の30秒前から「ビビビ…」とブザーが連続して鳴ります。

③傾斜感知時

- ・家屋の倒壊などにより本製品が30度以上の傾斜を検出すると、地震感知時と同じ動作を始め、3分後に自動的にブレーカを遮断します。
- ・停電や地震を感知している間、傾斜センサーは動作しません。

④テストボタン

- ・テストボタンを押すとブレーカ遮断の試験を行います。
- ・テスト中は「ピッ」とブザーが鳴り（LEDランプはオレンジ発光）、3分後にブレーカが自動的に遮断されます。
- ・ブレーカ遮断の30秒前から「ビビビ…」とブザーが連続して鳴ります。

【リセットボタン】

- ・停電/地震/傾斜の感知中やテスト中にリセットボタンを押すと、ブレーカ遮断を中止することができます。
- ・リセットボタンを押した後は【準備モード】になります。

【ブレーカ遮断後】

- ・ブレーカ遮断後は自動的に【準備モード】になります。

【電池切れ予告】

- ・ブザーが「ピッ」と1回鳴りLEDランプが赤色発光した時は電池切れの予告です。できるだけ早く電池4本を新品と交換してください。
- ・電池切れ予告中でも、通常の停電/地震/傾斜の感知とブレーカ遮断動作ができます。

【電池切れ】

- ・ブザーが「ビビビ」と2回鳴りLEDランプが赤色発光した時は電池が切れており、感停断は動作できません。電池4本を新品と交換してください。



「電池切れ予告」中のみ長期間放置すると電池切れとなり、ブレーカ遮断ができない場合があります。

8. 製品仕様

型式	STE20	
使用電池	単3形アルカリ乾電池 4本	
電池寿命	約2年（使用方法、環境で期間は変わります）	
停電センサー	単相3線式200V/単相2線式100V 50/60Hz	
感震センサー	震度5強相当以上（標準試験に準じる）	
	周期	加速度
	ブレーカ遮断作動	300ms/500ms/700ms : 250gal以上
	ブレーカ遮断不作動	300ms/500ms/700ms : 80gal以下
	100ms	: 250gal以下
傾斜センサー	30度以上（リセットボタンを押した時の傾斜を0度とする）	
電池切れ予告	電池切れの約1週間以前に通知（使用方法、環境で期間は変わります）	
寸法（W x H x D）	本体	90mmx82mmx16mm（両面粘着シート、突起を除く）
	電池ボックス	63mmx67mmx19mm（両面粘着シート、突起を除く）
	電池ケーブル	50cm
重量（電池を除く）	本体	約62g
	電池ボックス	約40g（参考：単3形アルカリ乾電池4本 約95g）
動作温度	-10~40°C	

9. 保証書

- ・保証期間はご購入の日から1年間です。
- ・取扱説明書の記載内容に沿った正しい使用状態で保証期間中に故障した場合は無償で交換いたします。その場合は、ご購入の販売店が弊社窓口までお申し付けください。
- ・保証期間中であっても次の場合は有償とさせていただきます。
 - (1) 誤ったご使用方法、落下など移動時の取扱い、改造等による故障。
 - (2) 火災、地震、落雷、水害、塩害、ガス害、落雷、異常な湿度環境などで生じた故障。
 - (3) 一般家庭の屋内以外での使用による故障。
- ・本製品は日本国内のみでの使用が有効です。
- ・この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

型式名	STE20	
保証期間	ご購入日から1年間	
販売店 記入欄	ご購入日	年 月 日
	店名・住所	
お客様 ご記入欄	電話	
	お名前	
製造元	ご住所	
	電話	
	ツェデンプロモート株式会社 〒252-0144 相模原市緑区東橋本1丁目8番地9号 URL https://tsuden-promote.com mail promote@tsuden.com	
	お問い合わせ先 042-774-1775 受付時間 9:00-18:00 [土・日・祝日除く] FAX 042-774-1463	